

3 「出会い」を作る学びを支える

京都大学総合博物館「教職実践演習」

以上のような高校生たちの学びをサポートしたのが京都大学の学生たちである。この学生たちは京都大学総合博物館が提供する教職実践演習の受講生たちとボランティア・スタッフである。教職実践演習ではこれまで総合博物館の展示やイベントと関連した学習活動を行ってきた。今回は上記の高校生たちの学びをサポートする中でこの授業の趣旨である教師としての総合力や能力の確認や養成を学校という実地において行う野心的な取り組みである。

しかしながら、実は受講生三名は教員志望ではなく、この授業を教職教育の文脈でデザインすることは難しいと思われた。そのため、大枠や位置づけとしては「サービスマーケティング」というものを取り入れることにした。サービスマーケティングとは社会的な活動への参加を通じた学習活動であり、多くはボランティアなどの社会奉仕活動への参加を通じたものである。各大学に「サービスマーケティング・センター」なるものが作られているが大体、前身は「ボランティアセンター」である。

今回は日吉ヶ丘高校でのイベント開催という社会活動への参加を通じた学びというニュアンスで授業が組まれている。プロジェクト型学習自体は高校生たちがするので、それをサポートする大学生の学び、と入れ子構造になっているのに注意したい。